平成３０年度研究推進計画

安浦中学校区　校番（３４）安浦小学校

校長名　山﨑　義之

1 研究主題，研究内容，方法等について

研究主題	安浦中学校区　研究主題 「主体的　対話的に学びながら，思考力・判断力・表現力を高める授業づくり」 ～逆向き設計を活用した単元構成の工夫を通して

主題設定の理由	（１）　主題設定の理由 昨年度は，中学校区での研究テーマ「主体的　対話的に学びながら，思考力・判断力・表現力を高める授業づくり」を受けて研究に取り組んだ。課題の多い算数科の図形領域に絞り，パフォーマンス課題を設定し，主体的・対話的な学びを目指した授業づくりについての研修を進めた。また，「思考力を育むノート」のルーブリックに基づいて評価・検証を行った。今年度の検証の結果は，「思考力を育むノート」のルーブリックにおける児童の達成度は，９５パーセント，授業の振り返りにおける「主体的な学び合い」の項目の達成度は，９６％であり，取組の成果が表れている。 しかし，「基礎・基本」学力定着状況調査においては，目的や条件に応じて必要な情報を捉え，複数の情報を関連付けながら考え，適切に表現したり解決したりすることに課題があった。それは，児童の主体的な学びと付けたい資質・能力が効果的につながっていないとことといえる。 そこで今年度は，さらに基礎・基本となる学力の定着を図るとともに，付けたい力を明確にしたパフォーマンス課題を取り入れた単元構成の工夫をすることで，主体的な学びを実感する授業づくりに取り組み，思考力・判断力・表現力を高めていくこととする。
研究仮説	（２）　研究仮説 付けたい力を明確にした逆向き設計によるパフォーマンス課題を取り入れた単元構成の工夫をすることで，主体的・対話的な深い学びにつながり，児童の思考力・判断力・表現力を高めることができるであろう。
研究内容及び方法	（３）　研究内容及び方法 ○　逆向き設計によるパフォーマンス課題を取り入れた単元構成の工夫。 ○　ルーブリックを用いた評価方法。 ○　主体的，対話的な「学び合いの場」を設定した授業づくり。 ○　帯タイム・家庭学習（宿題・自主学習）の充実に取り組む。
検証の指標と方法	（４）　検証の指標 ○　ルーブリックよる評価において児童の達成度８５パーセン以上を目指す。 ○　主体的・対話的な学び合いの場づくりに対する肯定的評価８５パーセント以上を目指す。 ○　アンケートによる帯タイム・家庭学習の達成度８０パーセント以上を目指す。 （５）検証の方法 ○　単元の終わりにノート等による達成状況分を分析・評価する。 ○　研究協議や授業振り返り表をもとに，成果と課題を分析する。 ○　児童アンケートを実施し，分析・評価する。

２　検証計画

学期	検証内容
１学期	・研究協議会において，協議の視点に沿って成果と課題を分析する。 ・児童アンケート及び授業の振り返りにより，１学期の成果と課題を整理する。
２学期	・ルーブリックによる達成状況分を分析・評価する。 ・研究協議会において，協議の視点に沿って成果と課題を分析する。 ・児童アンケート及び授業の振り返りにより，２学期の成果と課題を整理する。
３学期	・ルーブリックによる達成状況分を分析・評価する。 ・児童アンケート及び授業の振り返りにより，１年間の成果と課題を整理する。

３　校内研修計画

学期	研修内容
１学期	○研究主題及び校内研修計画, ぐんぐんタイムについての研修 ○逆向き設計によるパフォーマンス課題を取り入れた単元構成及びルーブリックの活用についての研修 ○研究授業, ブロック別研修進め方についての研修（指導案形式，協議会の進め方） ○研究授業，ブロック研修の実施 ○１学期の成果と課題 ○全国学力テスト結果の分析と課題の整理
２学期	○２学期の校内研修計画及び重点的な取組について ○指導方法等の改善計画について ○家庭学習・自主学習についての研修 ○研究授業，ブロック別研修の実施 ○２学期の成果と課題
３学期	○３学期の校内研修計画及び重点的な取組について ○今年度の成果と課題，来年度の取組について

４　研究公開の予定について（未定）